

## 令和5年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	春日町町会
事業名	春日町まるっと発見プロジェクト

### 1 令和6年度の事業継続

{  可 ・ 不可 } とする

### 2 令和5年度の実績

[活動実績]

妄想会議の開催

- ・開催回数 6回 ・参加者数 21人(延べ41人)
- ・妄想会議で出たアイデア数 60アイデア
- ・妄想会議で出たアイデアの実現数 3企画

協力者の増加

- ・組織部員数 4名増加
- ・イベント協力者 7名(妄想会議参加者)

### 3 令和5年度の評価

昨年度は、「持続可能な活動をしていくために、担い手となる住民をどのように増やしていくか」という課題がありました。その課題に対し、妄想会議という取り組みを通して、協力者を増やすことができたことを高く評価します。町会組織という従来の体制の中で、新たな手法を模索し、他町会からの興味・関心を得ていることも大きな成果といえます。

妄想会議は、非会員の声も拾うことができる、開かれた町会の在り方として注目していました。会議で挙げた住民ニーズ起点の取り組みを、すぐに実践できたことは、参加者にとっても手応えを感じられる成果であったと言えます。こうした経験を積み重ねることが、今後の活動への大きな飛躍につながります。

ただし、妄想会議で始めたイベントが増えていくことで、イベント疲れが引き起っては本末転倒です。まず、妄想会議で出た取り組みは、必ずしも継続する必要はないということを共有すること。そして、イベントは地域団体主催で行う以外にも、昨年度協力関係を構築した施設や、商店会と協力して行うことを検討してみてください。

妄想会議自体は良い取り組みですが、一方で長期的な視点で大きな絵を描くことについては、あまり適していません。イベントの実施に目が行きがちですが、町会の将来像とイベントをつなげるような議論をしてみてください。プレーパークのように、地域の困りごとやニーズに合わせた活動が定着していくと望ましいでしょう。また、妄想会議でのアイデアにもあるように、外国籍の方を巻き込む動きがあると、新しい特色が生まれると思います。ぜひ挑戦してみてください。

春日町まるっと発見プロジェクトの取組期間では、必ずしも町会員を増やすことを目標とせず、新たな住民組織の在り方を模索してください。来年度の活動にも期待しています。